

羽田 正先生
業績一覧

【単著】

- Le Chah et les Qizilbāš: Le système militaire safavide*. Berlin: K. Schwarz, 1987.
- 『モスクが語るイスラム史——建築と政治権力』中央公論社（中公新書），1994.
- 『勲爵士シャルダンの生涯——17世紀のヨーロッパとイスラーム世界』中央公論新社，1999.
- 『イスラーム世界の創造』東京大学出版会，2005.
- 『東インド会社とアジアの海』講談社，2007（同社学術文庫の一冊として再刊，2017）.
- 『冒険商人シャルダン』講談社（講談社学術文庫），2010.
- 『新しい世界史へ——地球市民のための構想』岩波書店（岩波新書），2011.
- 『増補 モスクが語るイスラム史——建築と政治権力』筑摩書房（ちくま学芸文庫），2016.
- 『グローバル化と世界史』東京大学出版会，2018.

【編著・共著】

- 『イスラム都市研究：歴史と展望』（三浦徹と共編），東京大学出版会，1991.
- 『世界の歴史：世界史 B』（高等学校教科書）山川出版社，1991.
- Islamic Urban Studies. Historical Review and Perspectives*, co-edit. with Toru Miura, London, Kegan Paul International, 1994.
- 『シャルダン 『イスファハーン誌』研究——17世紀イスラム圏都市の肖像』（東洋文化研究所叢刊 17）東京大学出版会，1996.
- 『成熟のイスラーム社会』（永田雄三と共著）中央公論社，1998（同社学術文庫の一冊として再刊，2008）.
- 『世界の歴史：世界史 A』（高等学校教科書）山川出版社，2004.
- 『岩波イスラーム辞典』（大塚和夫他5名と共編）岩波書店，2002.
- 『都市のフィロソフィー：都市とは何か，その本質』（都市のアナトミー 第1巻）（大谷幸夫，和田清美と共編）こうち書房，2004.
- 『港町に生きる』（港町の世界史3）青木書店，2006.
- 『ユーラシアにおける文化の交流と転変』（東洋文化研究所叢刊21）東京大学東洋文化研究所，2007.
- 『世俗化とライシテ』（UTCP Booklet 6），The University of Tokyo Center for Philosophy，2009.
- Sécularizations et laïcités*. (UTCP Booklet 7), The University of Tokyo Center for Philosophy, 2009.
- Asian Port Cities 1600–1800. Local and Foreign Cultural Interactions*, NUS Press & Kyoto University Press, 2009.
- 『海から見た歴史』（東アジア海域に漕ぎだす1）東京大学出版会，2013.
- 『新世界史 B』（高等学校教科書）山川出版社，2013.
- 『輪切りで見える！ パノラマ世界史⑤ 変わり続ける世界』（監修）大月書店，2015.

- 『輪切りで見える！ パノラマ世界史④ 大きく動き出す世界』（監修）大月書店，2015.
- 『輪切りで見える！ パノラマ世界史② さまざまな世界像』（監修）大月書店，2015.
- 『輪切りで見える！ パノラマ世界史① 世界史のはじまり』（監修）大月書店，2016.
- 『輪切りで見える！ パノラマ世界史③ 海をこえてつながる世界』（監修）大月書店，2016.
- 『グローバルヒストリーと東アジア史』（東洋文化研究所叢刊 30）東京大学出版会，2016.
- 『「世界史」の世界史』（南塚信吾ほか4名と共編）ミネルヴァ書房，2016.
- 『地域史と世界史』（MINERVA 世界史叢書 1）ミネルヴァ書房，2016.
- 『グローバル・ヒストリーの可能性』山川出版社，2017.

【単著，編著の外国語訳】

- 『“イス蘭世界”概念的形成』（劉麗嬌，朱莉麗訳），上海古籍出版社，2012.
- 『東インド会社とアジアの海（韓国語）』（李秀烈，具知瑛訳），Sunin 出版，2012.
- 『アジアの港町 1600–1800（韓国語）』（Kim Nayeo, Hyon Caiyeor 訳），Sunin 出版，2012.
- 『新しい世界史へ——地球市民のための構想（韓国語）』（李秀烈訳），Sunin 出版，2014.
- 『從海洋看歴史』（張雅婷訳），廣場出版，2017.
- 『東印度公司與亞洲的海洋』（林詠純訳），八旗文化／遠足文化事業股份有限公司，2018.
- Toward Creation of a New World History*, tr. by NODA Makito, Japan Publishing Industry Foundation for Culture, 2018.
- 『全景世界史』全5巻（張厚泉訳），復旦大学出版社，2018.
- 『海から見た歴史（韓国語）』（鄭淳一訳）Minumsa Publishing Group，2018.
- Maritime History of East Asia*, co-edit. with OKA Mihoko, Kyoto University Press & Trans Pacific Press, March 2019.

【翻訳】

- フィリップ・オドレール著『フランス東インド会社とボンディシェリ』大峰真理と共訳，山川出版社，2006.

【主要論文】

- 「サファヴィー朝の成立」『東洋史研究』37-2，1978，24–56.
- 「コルチ考——16世紀イランの近衛兵制度——」『史林』67-3，1984，1–23.
- 「シャー・アッバースの改革とコルチ」『西南アジア研究』23，1984，26–46.
- 「後期イスラム国家の支配——サファビー朝の場合」『イスラム・転変の歴史』（講座イスラム 2）森本公誠編，筑摩書房，1985.
- 「メイダーンとバグ——シャー・アッバースの都市計画再考——」『橘女子大学研究紀要』14，1987.
- 「シャー・タフマスプのキジルバシ政策」『オリエント』30-2，1987，28–46.

- 「フーザーニー家の人々——東方イスラム世界における一家の歴史——」『史学雑誌』96-1, 1987, 37-67.
- “La famille Hūzānī d’Isfahan (15–17 siècles).” *Studia Iranica*, 18, no. 1, 1989, 77–92.
- “Ġāzāniyya in Tabrīz”, *Urbanism in Islam. The Proceedings of the International Conference on Urbanism in Islam (ICUIT) Oct. 22–28, 1989*, Vol. 2, ed. YUKAWA Takeshi, Tokyo, 1989.
- “Maydān et bağ. Reflexion à propos de l’urbanisme du Šāh ‘Abbās.” *Acte du Colloque franco-japonais sur les documents provenant de l’Asie centrale*. Kyoto, 1990.
- 「スルタン・スレイマンとシャー・アッパース——ムスリム君主の墓廟観——」『歴史と地理』429, 1991, 1–12.
- 「1676年のイスファハーン：都市景観復元の試み」『東洋文化研究所紀要』118, 1992, 183–235.
- 「東方イスラーム世界の成立」鈴木董編『パクス・イスラミカの世紀』（講談社現代新書），1993.
- 「イラン——前近代」『イスラム研究ハンドブック』栄光教育文化研究所，1995.
- 「西アジア・インドのムスリム国家体系」歴史学研究会（編）『近代世界への道：変容と摩擦』（講座世界史 第2巻）東京大学出版会，1995.
- “The Character of the Urbanization of Isfahan in the Later Safavid Period.” Charles Melville (ed.), *Safavid Persia*, London and New York: I.B. Tauris & Co. Ltd, 1996, 369–387.
- “The Pastoral City and the Mausoleum City: Nomadic Rule and City Construction in the Eastern Islamic World.” *Islamic Urbanism in Human History*. Edited by Tsugitaka Sato. London: Kegan Paul International Ltd., 1997.
- “Emigration of Iranian Elites to India during the 16–18th Centuries.” *Cahiers d’Asie Centrale*, 3, no. 4, 1997, 129–143.
- 「三つのイスラーム国家」『イスラーム・環インド洋世界：16–18世紀』（岩波講座世界歴史 第14巻）岩波書店，2000, 3–90.
- 「サファヴィー朝とイスファハーンの栄光」間野英二（編）『西アジア史』（アジアの歴史と文化 第9巻）同朋舎，2000, 144–156.
- 「バンドレ・アッパースとペルシア湾海域世界」『歴史学研究』第757巻，歴史学研究会 2001, 1–12.
- 「東方イスラーム世界の形成と変容」永田雄三編『西アジア史Ⅱ イラン・トルコ』（新版世界各国史 9）山川出版社，2002, 180–228.
- 「イスラーム世界」史の解体」『イスラームとは何か——「世界史」の視点から』（別巻『環』④）藤原書店，2002, 90–97.
- 「都市の壁——前近代ユーラシア王都の都市プランと象徴性」東京大学東洋文化研究所編『アジア学の将来像』東京大学出版会，2003, 431–455.
- 「シャルダンの「つましい望み」とムスリム少女のスカーフ：国家の宗教と個人の信仰」石井洋二郎，工藤庸子編『フランスとその〈外部〉』東京大学出版会，2004, 147–169.
- 「まもる」大谷幸夫，羽田正，和田清美（編）『都市のフィロソフィー都市とは何か，その本質』（都

- 市のアナトミー 第1巻) こうち書房, 2004, 145-169.
- 「ムスリムの地理的知見と世界像」林佳世子 榊屋友子(編)『記録と表象: 史料が語るイスラーム世界』(イスラーム地域研究叢書 第8巻) 東京大学出版会, 2005, 81-112.
- “Bandar Abbas and Nagasaki. An Analysis of the Reaction of the Safavid Government to Europeans from a Comparative Perspective.”『日本中東学会年報』第20巻 第2号 日本中東学会, 2005, 119-130.
- 「西アジアの世界遺産」佐藤信(編)『世界遺産と歴史学』山川出版社, 2005, 194-204.
- 「西アジア」の地域とアイデンティティ」貴志俊彦他編『「東アジア」の時代性』溪水社, 2005, 169-179.
- 「有用な歴史学」と世界史』『UP』第400号 東京大学出版会, 2006, 1-6.
- 「現代歴史学の創成」『思想』第982号, 岩波書店, 2006, 1-3.
- 「バンダレ・アッバースの東インド会社商館と通訳」羽田正 編『港町に生きる』(港町の世界史 第3巻), 青木書店, 2006, 95-123.
- “Les compagnies des Indes Orientales et les interprètes de Bandar 'Abbas.” *Eurasian Studies*, V, 2007, 175-192.
- “Modern Europe and the Creation of the “Islamic World.”” *International Journal of Asian Studies*, 4, no. 2, 2007, 201-220.
- 「歴史理論」(2007年の歴史学界——回顧と展望——)『史学雑誌』117-5, 2008, 5-9.
- 「西アジアの都市——その形態と構造」秋山元秀 金田章裕 高橋誠一 山田誠(編)『都市と農地景観 (アジアの歴史地理2)』朝倉書店, 2008, 99-110.
- “Europeans at Bandar Abbas and the ‘state’ of Persia in the 17th and 18th Centuries.” Eds. B. Hofmann & M. Ritter, *Iran und iranische geprägte Kulturen*. Dr. Ludwig Reichert Verlag, 2008, 85-93.
- 「イスラーム世界」と新しい世界史」水島司(編)『グローバル・ヒストリーの挑戦』山川出版社, 2008, 66-76.
- “La découverte du “monde musulman” dans le Japon des années 1930.” *Miscellanea Asiatica. Mélanges en l’honneur de Françoise Aubin*. Edited by Roberte Hamayon Denise Aigle, Isabelle Charleux, Vincent Gossaert: Steyler Verlag, 2010.3, 317-343.
- 「世界史を構想する」『図書』6-2010, 岩波書店, 2010, 16-21.
- 「東亜海域史の実験」『世界史中的東亜海域』復旦大学文史研究院編, 中華書局, 2011, 1-10.
- 「インド洋海域世界とイスラーム」橋寺知子 森部豊 蜷川順子 新谷英治 編『アジアが結ぶ東西世界』関西大学出版部, 2011.3, 116-124.
- 「不对等の悖論——非西方语言于认识世界的意义」『复旦学报 社会科学版』第2巻 第2号, 2011.
- 「新しい世界史と大学の組織」『学術の動向』2011年10月号 2011.10, 28-30.
- 「新しい世界史」とジェンダー史』『ジェンダー史学』第8号 ジェンダー史学会, 2012, 163-164.
- 「外向きの若者たち」『月刊経団連 2013年3月号』日本経済団体連合会, 2013.3, 49.
- 「グローバル化社会と教養」『教育研究』第1343号, 不昧堂出版, 2014.1, 14-17.

- 「空間概念の歴史の意味とイスラームの東方への伝播」国際歴史学韓国委員会（編）『世界史の中のイスラーム』日韓文化交流基金，2014.3，138–142.
- 「Global History, グローバルヒストリーと日本史」『岩波講座日本歴史第20巻 月報11』岩波書店，2014，1–4.
- 「東亜與世界史」『澳門理工学报 人文社会科学版』第17巻，2014，181–184.
- 「東インド会社という海賊とアジアの人々」東洋文庫編『東インド会社とアジアの海賊』勉誠出版，2015.4，1–35.
- “Key Challenges for Japanese Universities in the Age of Globalisation.” *German-Japanese Symposium on the Role of Universities in the Age of Globalisation. Between Workforce Development and Personality Development, 8 October 2014 / Tokyo, Japan, Conference Proceedings: German Research and Innovation Forum Tokyo*, 2015.6, 3–7.
- “Japanese Perspectives on “Global History”.” *Asian Review on World Histories*, 3/2, 2015.7, 219–234.
- 「21世紀世界のビジョンと日本の貢献——普遍化と地域性」21世紀構想懇談会編『戦後70年談話の論点』日本経済新聞出版社，2015年，238–250.
- 「新的世界史和地区史」復旦大学文史研究院編『全球史，区域史与国別史』中華書局，2015.12，21–30.
- 「新しい世界史／グローバルヒストリーとは何か」羽田正（編）『グローバルヒストリーと東アジア史』東京大学出版会，2016.3，1–15.
- 「新しい世界史と地域史」羽田正（編）『グローバルヒストリーと東アジア史』東京大学出版会，2016.3，19–33.
- 「地域史と世界史」羽田正（責任編集）『地域史と世界史』ミネルヴァ書房，2016.10，1–10.
- 「イスラーム世界——歴史を語る空間概念の枠組みの功罪——」羽田正（責任編集）『地域史と世界史』ミネルヴァ書房，2016.10，63–77.
- “A New Global History and Regional Histories.” Edited by Benjamin A. Elman & Chao-Hui Jenny Liu, *The ‘Global’ and the ‘Local’ in Early Modern and Modern East Asia: BRILL*, 2017.1, 52–61.
- “Le Japon et la mer.” *La mer dans l’histoire 3 La Période moderne*. ed. par Christian Buchet & Gérard Le Bouëdec, Boydell Press, 2017.2, 564–579.
- “A vision for the 21st-century world and Japan’s contributions: Universalization and regionality.” *Toward the Abe Statement on the 70th Anniversary of the End of World War II* 出版文化産業振興財団，2017.3，223–249.
- 「グローバル・ヒストリーの豊かな可能性」羽田正（編）『グローバル・ヒストリーの可能性』山川出版社，2017.10，1–12.
- 「日本におけるグローバル・ヒストリーと世界史」羽田正（編）『グローバル・ヒストリーの可能性』山川出版社，2017.10，80–104.
- “World / Global History and the Positionality of Historians.”, Ho, Clara-Wing-chung, Mak, Ricardo K.S.,

Tam, Yue-him (eds.), *Voyages, Migration and the Maritime World. On China's Global Historical Role*, 262pp., De Gruyter Oldenbourg, September 2018, 23–36.